

# 【左京区叡麓地区保護司会 社会を明るくする運動研修会】

2023社会を明るくする運動

## 更生保護って

## なんだ??

## 大交流会

7.10

10:10~11:40  
上高野小学校  
ふれあいサロン

誰もが「孤立」を抱える社会のなかで、弱者ほど生きづらい世の中になってきました。わたしたちは、更生保護の活動を通して、地域のなかで「やさしさ」を増やし、誰もがしあわせに暮らせる社会をつくりたいと思っています。

それは、犯罪をした人たちが立ち直ることができる社会だと思っています。

まずは、私たちが「やさしい」関係性を作り、大いに語り合しましょう。

美味しいお菓子もあるそうです笑。

※どなたでもお越しください

主催：叡麓地区保護司会

上高野地区更生保護女性会

連絡先：渡辺、佐竹

北川（09019068414）



日時: 令和5年7月10日(月)10:10~12:00

場所: 京都市立上高野小学校ふれあいサロン

主催: 叡麓地区保護司会、上高野地区更生保護女性会

参加者: 保護司3名、更生保護女性会10名、上高野社会福祉協議会1名。

目的:

誰もが「孤立」を抱える社会のなかで、弱者ほど生きづらい世の中になってきました。犯罪の原因の多くは孤立だと言われており、それはその人を孤立させている地域の問題でもあります。そこで、私たちは改めて「更生保護」の活動を見直し、私たちが地域に求められていることは何かといった問題意識を共有するとともに、新しい保護司さんとの交流を深め、まずは私たち自身が顔の見える関係性を構築することを目的とします。

内容:

・挨拶 牛江保護司

・自己紹介

・更生保護の現状／再犯防止推進法案の背景

犯罪数→ピーク時の1/4、うち再犯者の割合50%、どうして再犯するのか(犯罪の傾向)、

更生保護法令和4年改正→地域住民参加促進、指導から寄添いへ

・話し合い: ケース検討を通して生きづらさを抱える少女を題材に、地域でできることを検討した。また近年のニュースなどから感じることを話し合った。

「私とその立場だったら、犯罪をしていたかも知れない」「犯罪に至るまで、もっともっと子どもの時分に地域でできることがあった」との意見が出た。世間には、犯罪者は排除される存在であって、その人に寄添って考える人はほとんど居ない。

だからこそ私たちの存在は貴重なのだと共有した。

文責: 北川美里 左京区保護司会 協力組織部 部会長